

# 事業評価調書

## ◎基本情報

年度	令和6年度	会計コード	10	一般会計	事業コード	70301	
事業名	世界冬の都市市長会議開催費						
評価担当課	所属	総)国際部 国際課			電話番号	211-2032	
施策名	世代や国籍を超えた交流や趣味を通じた交流などにより、市民のつ						
アクションプラン	● 対象 ○ 対象外						
事業の性質	○ 経常経費 ● 臨時的経費			○ 内部管理 ○ 法定経費 ○ 指定管理費			
	○ 直営 ● 一部委託 ○ 全部委託 ○ 補助・助成 ○ その他						
事業内容	事業の背景(現在の状況、社会的課題)	「冬の都市」は積雪寒冷の厳しい気象条件に適したまちづくりを行わなければならないという共通した課題を抱えている。『冬は資源であり、財産である』というスローガンのもと、世界中の冬の都市が集まり、共通課題を話し合い、快適な都市を創造することを目的に、1981年に札幌市が提唱し翌年に第1回市長会議を開催したのが「世界冬の都市市長会」(以下、「市長会」)の始まり。 住民ニーズの複雑化に伴い、市長会での議論を単純にまちづくりへ生かしづらくなっており、議論を深める必要がある。また、世界都市・さっぽろとして、ポストコロナにおいて国際会議の開催による来札者増の取組が求められている。なお、第20回市長会議はロシア・ノリリスク市にて開催を予定していたが、国際情勢の影響により開催が難しい状況となっている。					
	事業内容(何を実施し)	市長会から得られた冬の技術や経験、取組をさらに市のまちづくりへ生かし、市民へ還元するため、第20回世界冬の都市市長会議を札幌市にて開催する。 第20回市長会議の概要 ○開催時期:令和6(2024)年12月17日(火)~21日(土) ○会場:札幌コンベンションセンター等 ○参加者数:会員都市参加者・非会員都市等参加者を合わせ、約100名 ○開催事業:①市長会議 ②冬の見本市 ③冬の都市フォーラム等					
	どのような状態にしたい(状態を維持したい)	市長会議の開催により、①会員都市間の「冬の都市」のノウハウや学び合いのまちづくりへの活用、②地域における産学官連携プラットフォームの創出、③会員都市間での協力連携関係が生まれ、国際ネットワークとしての価値が一層高まり充実する。					
	他都市の状況	新潟市「日口沿岸市長会」、京都市「世界歴史都市連盟」、広島市「平和市長会議」、北九州市「東アジア経済交流推進機構」、福岡市「アジア太平洋都市サミット」など他の政令市においても、類似の国際ネットワークを主催している。					
	市民参加の実施	<input type="checkbox"/> 企画 <input type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 評価 <input checked="" type="checkbox"/> 対象外					
令和5年度決算額	0 千円	うち特定財源	0 千円	正規職員業務量	0 人工		
令和6年度予算額	42,000 千円	うち特定財源	8,000 千円	正規職員業務量	0.9 人工		
令和6年度決算額	39,169 千円	うち特定財源	15,219 千円	正規職員業務量	0.9 人工		
令和7年度予算額	0 千円	うち特定財源	0 千円	正規職員業務量	0 人工		
指標	アウトプット活動指標1	第20回世界冬の都市市長会議の札幌開催			という活動、業務を行うことで		
		令和5年度実績	令和6年度予定	令和6年度実績	令和7年度予定	令和8年度予定	令和9年度予定
	↓						
	アウトカム成果指標1	会議開催に伴う連携事業数・事例活用数			という状態にしたい、成果を挙げたい		
		令和5年度実績	令和6年度予定	令和6年度実績	令和7年度予定	令和8年度予定	令和9年度予定
	令和6年12月に第20回世界冬の都市市長会議を札幌市にて開催し、目標を達成した。						
	指標1の評価、未達理由、今後の考え方	第20回世界冬の都市市長会議の札幌開催			という活動、業務を行うことで		
令和5年度実績		令和6年度予定	令和6年度実績	令和7年度予定	令和8年度予定	令和9年度予定	
↓							
アウトカム成果指標2	他の国際ネットワークと連携しての会議プログラムの実施、学術機関・企業・会員都市・他部局との連携企画として、__ウインターシティーズ・ショーケース、__ビジネス交流会、__国際芸術祭との連携展示の実施、__本市作成のMICEガイドラインにおけるリードケースとしての事例活用により、目標を達成した			という状態にしたい、成果を挙げたい			
	令和5年度実績	令和6年度予定	令和6年度実績	令和7年度予定	令和8年度予定	令和9年度予定	
__他の国際ネットワークと連携しての会議プログラムの実施、学術機関・企業・会員都市・他部局との連携企画として、__ウインターシティーズ・ショーケース、__ビジネス交流会、__国際芸術祭との連携展示の実施、__本市作成のMICEガイドラインにおけるリードケースとしての事例活用により、目標を達成した							
今年度の見直し内容	なし						
来年度以降の方向性	引き続き、各都市での市長会議の開催を通じ、①会員都市間の「冬の都市」のノウハウや学び合いのまちづくりへの活用、②地域における産学官連携プラットフォームの創出、③会員都市間での協力連携関係が生まれ、国際ネットワークとしての価値が一層高まり充実することを旨とする。						